

## 平成28年度 大阪教育大学「学生表彰」学生業績

### 学長表彰（4名）

○杉田 悠（スギタ ユウ）教養学科 スポーツ専攻

#### 【業績概要】

体育会剣道部に所属し、1回生では第32回全日本女子学生剣道優勝大会での準優勝に貢献した。

3回生では、第39回関西女子学生剣道優勝大会での優勝に貢献した。

4回生では、第31回西日本女子学生剣道大会の準優勝に貢献し、同大会で優秀選手賞に輝くなど4年間を通して優秀な成績を収めた。

○伊佐 嘉矩（イサ ヨシノリ）大学院 保健体育専攻

#### 【業績概要】

①教員採用試験 大阪府 [高校]、堺市 [中学校] に合格 教科：保健体育

②天皇賜盃第85回日本学生陸上競技対校選手権大会 十種競技総合 10位、やり投げ&1500m 全国1位

③第93回関西学生陸上競技対校選手権大会 十種競技 4位

④第84回大阪陸上競技選手権大会 十種競技 2位

⑤日本陸上競技選手権&日本グランプリ 参加標準記録突破

全国大会出場などの輝かしい成績をおさめるだけでなく、倍率が10倍以上の教員採用試験に合格するなど、学業にも力を入れ、他の学生の模範となる学生である。

○奥野 洋（オクノ ヒロシ）大学院 芸術文化専攻

#### 【業績概要】

書家になるための登竜門で日本の書道の展覧会の中では草分け的存在である日本学書展で2年連続特賞を受賞。昨年は1位の知事賞、今年は1位の文部科学大臣賞（文部科学大臣賞と知事賞は隔年で交替し、高校と大学の各部の第一位が受賞）。受賞部門である第3部は高校・大学の漢字作品を出品する部門で、大学生の特賞受賞は2点のみ。大学生の出品作品の中でベスト2に入らなければ受賞出来ない超難関を連続で受賞した。

書道の技量に優れているだけでなく、周囲からの信頼も厚く、人格的にも素晴らしい学生である。

○山方 諒平（ヤマカタ リョウヘイ）大学院 保健体育専攻

#### 【業績概要】

大学院での研究に励む一方、陸上競技棒高跳びで日本トップクラスの実績を残した。

①第50回織田記念国際陸上 8位

②第99回日本陸上競技選手権大会 7位

③2015日本学生陸上競技個人選手権大会 6位

④天皇賜盃第84回日本学生陸上競技対校選手権大会 10位

⑤第70回国民体育大会 11位

⑥第100回日本陸上競技選手権大会 13位

⑦天皇賜盃第85回日本学生陸上競技対校選手権大会 2位

## 学長特別表彰（1名2団体）

○赤嶺 梨緒（アカミネ リオ）教養学科 スポーツ専攻 1回生

### 【業績概要】

自由形の選手として、日本学生選手権水泳競技大会において決勝に進出する等、水泳選手として素晴らしい成績を残した。

日本学生選手権 800m 自由形 決勝8位

○女子ハンドボール部 <代表者>吉光 遼（ヨシミツ ハルカ）

### 【業績概要】

2016年西日本学生ハンドボール選手権大会で準優勝、全日本学生ハンドボール選手権大会（インターカレッジ）ではベスト8に入賞

日本選手権大会に近畿代表で出場するなど、課外活動において特に顕著な成果をおさめた。

○障がい学生修学支援ルーム学生スタッフ <代表者>谷川 怜美（タニガワ サトミ）

### 【業績概要】

障がい学生修学支援ルーム学生スタッフは、障がい学生支援に係る（1）自主研修の企画実施、（2）広報活動、（3）学内および他大学学生等交流会企画実施参加、（4）支援機器活用の検討、（5）学生会議の実施等の取り組みを主体的に推進し、自らの資質向上に励むとともに、本学における障がい学生支援の充実に多大なる貢献をしてきた。

これらの功績は対外的にも評価され、平成28年9月8日 日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク主催「第12回日本聴覚障害学生高等教育支援シンポジウム」内「実践事例コンテスト」で『PEP Net-Japan 賞（最優秀賞）』を受賞。（4年連続の入賞）

この学生らは、本学を卒業・修了以降、教員その他社会人として、障がい者への理解啓発に関し、中心的な役割を果たすリーダーとして寄与できることが十分に期待できる。

## 学生支援実施委員会奨励賞（1名）

○石井 孝典（イシイ コウスケ）教養学科 スポーツ専攻 3回生

### 【業績概要】

平泳ぎの選手として、日本学生選手権や日本選手権（25m）水泳競技大会／FINA スイミングワールドカップ2016東京大会においてB決勝に進出する等、水泳選手として素晴らしい成績を残した。

日本学生選手権 200m 平泳ぎ B決勝2位（全体10位）

日本選手権（25m）／FINA スイミングワールドカップ2016東京大会 200m 平泳ぎ 決勝3位（日本選手10位）